

令和元年度 第5回 北区自治協議会 議事概要

日 時 令和元年8月22日(木)午後1時30分から

会 場 豊栄地区公民館2階 大講堂

出席者 委員

神田征男委員、神田恭之委員、赤間委員、松田委員、五十嵐委員、本間藤雄委員、
阿部勝幸委員、山賀委員、清水委員、工藤委員、黒川委員、
小池委員、澤委員、菅原委員、相馬委員、鶴巻委員、
藤沢委員、皆川委員、村山委員、渡邊委員、本田委員、阿部美恵子委員、
梅津委員、中嶋委員、佐久間委員、本間久文委員 計26人
(欠席：原委員、樺山委員、小林委員、平松委員)

事務局

[北区役所関係]

区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長、健康福祉課長、
産業振興課長、建設課長、北出張所長、北区農業委員会事務局長、
北下水道分室長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長、
豊栄地区公民館長、地域総務課長補佐2人、地域総務課員3人

傍聴者 7人

内 容

1 開会

2 議事事項

(1) 令和2年度特色ある区づくり事業について(委員提案分)

松田会長

議事事項の(1)令和2年度特色ある区づくり事業について、検討していきたいと思
います。ご提案いただいた委員の方々から、提案の説明をお願いします。議事資料1の順番で進
めさせていただきます。

鶴巻委員

パッククッキングの出前講座ということですが、その前に私たちの活動のことを少しお話

させていただきます。私たちは、「私たちの健康は私たちの手で」ということをスローガンに、生涯における健康づくり活動を食を通して地域において推進している食の健康ボランティアです。

パッククッキングは、2年くらい前から光晴中学校や岡方中学校で防災事業として行ったりしています。そのときには、地域総務課から作っていただいた、パッククッキングのDVDを子どもたちに事前に見ていただいて、当日は私たちがデモをしながら実際に行いました。

災害はいつ私たちの身に起こってくるか分かりません。最初の何日間はレトルトとかそういうものを食べてもおいしいと思いますが、それが何日も続くと、やはり温かい食べ物が食べたくなくなるというのが人間の気持ちだと思います。その時に、鍋の中にお湯を沸かしておけば、このポリ袋の中に白米なり、カレーの材料を入れて真空にしてお湯の中に30分ほど入れればカレーとご飯ができるという、簡単な作り方です。まだ皆さんに浸透できていないものですから、この機会に知ってもらい活動していきたいと思います。

また、震災のときだけではなく、私も夫と2人暮らしですが、人数が少なくなるとついスーパーで食材を買ってそのまま食べたりします。けれども、温かいご飯を食べたいときに、この袋に白米を入れて作れば、少量でもほかほかのご飯ができます。普段からそういうことをやっていれば、いざ震災になったときでも活用できると思います。関連して、今、平均寿命は延びていますが健康寿命が短くなっています。このパッククッキングを通じて地域の皆様に、食の大切さを分かってもらえるきっかけにもなると思いますので、今回提案をさせていただきます。よろしく願いいたします。

工藤委員

私から、2番の北区の交通資源マップの作成と活用促進ですが、北区の公共交通マップを作成し、住民の皆様へ配布することで既存の公共交通を最大限活用していただけたらということで提案いたしました。

また、免許証自主返納後に活用できる高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」の利用方法や、運転経歴証明書の申請方法など有益な情報も併せて掲載できるとよいと考えています。

平成27年度に自治協議会で交通環境部会が北区内の公共交通のマップを作成しており、非常にいい取組みだと思いますので、免許証返納等の情報もさらに加えて作成できるといいと考えています。

効果として、運転に不安のある高齢者の方の免許証の返納を推進し、交通事故を防止すること。あと運転免許証を自主的に返納する方を支援する。あとは住民が既存の交通資源、区バスや住民バス、デマンド交通などを最大限に活用していただけるということです。

引き続き3番の福祉教育部会だよりの発行です。これは、一昨年に福祉教育部会での取り組みとして行いました。北区の小中学生を持つ子育て世代に対して、子育てや教育、福祉に関する情報を広報誌にして年間を通じて発行・配布をし、子どもたちが北区で安心できる環境づくりにつながれたらと思って提案いたしました。一昨年はA4のカラー刷り、両面印刷の広報誌でして、これを半年間、小学校の親御さんのみに配布していました。これを中学校にも拡大して配布したいと思っています。

効果として、子どもたちが心身健やかに成長するために子育ての際に大切にしてほしい視点や、親としての心構えなどを掲載することで子育てに役立ててもらったり、また働き世代の若い親に対して支え合いや助け合いの地域づくりに関心を向けてもらえるようなはたらきかけを、この広報誌を通じて行うことで、子どもがさらに安心して暮らせる北区になると考えています。

梅津委員

4番です。事業名は、みんなで子育て学ぼうよとしました。理由ですが、8050問題(50台の引きこもりの子を80代の親が養っている)が社会問題になってきています。そして、引きこもりの数も増加の一途をたどっていて、殺傷事件なども起きています。今、その原因究明と抜本的な解決に力を注ぐべき時がきているのではないかと考えています。子どもの前での夫婦げんか、心ない言葉、スマホネグレクトや兄弟間の差別など、精神科医が警鐘を鳴らしている子どもの脳を傷つける親たち、マルトリートメント(不適切な養育)から子どもたちを守る、そんな授業ができないものかと考えました。

実施方法ですが、新潟市子育て応援パンフレットでスキップには、たくさんの子どもの遊び場や集いの場が紹介されていますが、限られた人しか集まらない。より多くの保護者に参加してもらうためには、保育園やこども園の保育参観時に、保護者の学習機会を確保し、子育てアドバイザーから教えてもらうと考えております。

効果ですが、愛着形成が3歳までいかに大切であるか。マルトリートメント(不適切な養育)が子どもに及ぼす影響を学習することで、自らの子育てを振り返り、よりよい子育てに向かおうと努力する保護者が増えていくのではないかと考えています。地域の主任児童委員や、学校の校長先生、養護教諭の先生などの応援も考えていきたいと思っております。地域と学校がつながり相談できる関係もできていくのではないかと考えて、この提案をしました。

本間(久)委員

5番、学校と地域の文化交流です。現在、早通中学校を中心にして敬和高校と新潟医療福

祉大学、それから地域の団体も含めて総おどりというものを、地域教育コーディネーターの努力によって、10月に実施しています。今年度やるかどうかはまだ確認していませんが、そのときだけしか学校間の交流というものがありません。これを地域全体、北区全体で何か交流できるようなフェスティバル的なものがないかということで、提案しました。

豊栄総合体育館や北地区スポーツセンターを利用して、発表会みたいな形でやれればと思っています。それによって、いろいろな交流もできるのかと思っています。

6番目は、高齢者の方が何かを相談するときに気楽に相談できる場所がない、1人でずっと1日、何もだれにも話をせずに1日過ぎてしまうというような話をよく聞きます。これは高齢者ばかりではなくて子育て世代もそうですが、そういう交流の場を公民館などでできればということです。

また、実施のためにはボランティアを組織する必要がありますが、ボランティアというと一般の方が多く、公務員とか教員に例えば土日をお願いすると、超過勤務だとか、仕事として来ます。公務員や教員は、ボランティアを使う立場が多いですが、使われる立場も経験してほしい。そういう方も含めて、こういうものができればというのが6番目のところです。

松田会長

7番の北区音楽芸能フェスティバルです。北区内にはいろいろな団体、キッズダンスやマーチングバンド、それから神楽の伝統芸能とかが、それぞれでイベントやコミュニティセンターでの発表会などを行っていると聞いています。神楽は例年11月に博物館の前で演じている姿を見ます。そうして取り組んでいるグループや団体が一同に介して北区文化会館で発表するような機会を年に1回設けて、関心を持つ機会があるといいなということで提案をしました。

神田副会長

8番の松浜海岸の森林の空間の利活用です。今現在予算をいただいて、アキグミを松浜小学校の4年生と住民の皆さんで3,000本から3,500本くらい植えさせてもらっています。このアキグミが風と砂等で根付くのに相当の被害がある。植えても約半分しか根付かない。早く根付くためには空いている区間をネットで防護する。そしてその周りがあるひょうたん池などに遊歩道などを作って自然観察ができるような環境にしていきたいということで、今回提案をさせていただきました。

工藤委員

9 番カレーライスウォークラリーで、名所、食材、歴史等を知るといことで提案しました。北区の名所やおすすめスポットをウォークラリーで回りながら問題を解く中で、北区の歴史や漁業・農業等に触れることで参加者同士の交流、あとは食材を育てる人との交流などを育む場にもなると考えています。

平成 25 年から平成 27 年に北区役所の健康福祉課で健康づくり対策事業として、『あるキタクなる！健幸ウォーキングマップ』を作成しています。今、健康寿命の延伸と言われていますが、北区は運動する習慣がない人の割合が市の平均よりも高くなっています。こうしたウォークラリーをしながら、北区の名産である野菜や肉、魚介を使い、最後はカレーを作って他世代交流もできるというイベント的なものができるといいと思って提案しました。

阿部（美）委員

10 番、福島潟賑わい事業です。来訪者が多い時期だけでいいと思いますが、市外、特に区外の方から「豊栄はいろいろなおいしいものがあるのに福島潟に来て何も無い」という言葉を聞きます。食堂が閉鎖したのが大きな理由ですが、どこのイベントに行っても絶対に地場産が少し置いてある。そんな高くなくても、たくさんなくてもいいけど、ワンコインとか 100 円、200 円で置いてほしいという声をあちこちから聞きました。なるほどと思い、これを提案させていただきました。

来訪者が多い土日祝日、それから菜の花の時期や鳥がたくさん飛来する秋冬なんかで少しやれたらいいと思っています。特にお弁当がほしいという声があったので、専門業者から委託を受けて販売するような形がいいのかと思っています。ビュー福島潟の 3 階に「まこも」という喫茶がありランチもしていますが、そこまで上がっていくということがなかなか難しいので、1 階で販売できるような形にし、福島潟と豊栄の北区の PR となり、福島潟は何も無いと言われたいようにしたいといことで提案しました。よろしく願いいたします。

本間（久）委員

11 番です。エコネットにいがたという NPO 法人が、毎年 3 月に北区環境まつりというものをやっております。これは豊栄市時代から 17 年間ずっと実施しています。当初は、豊栄市から委託を受けて実施していたのですが、今年度からは委託事業という形ではなく、補助金もなくなり、自主事業という形で実施をせざるを得ない状態になっています。

地球温暖化に関しても気温が高くなってやっと分かるような形になりました。それから、最近問題になっているマイクロプラスチック問題も身近なものとしては全然考えていないといところがあります。

小学生にいろいろな形でイベントに参加してもらい、環境標語などを作ってもらうとか、環境かるたを作ってもらうということをしていましたが、それもできなくなりました。最近、小学校にそういうお願いをすると、協力していただけないということが多くあったので、自治協委員提案でやることによって、教育委員会や小学校などに協力いただいて、環境に関する問題意識を持ってもらうということを含めて、環境フェスという形で実施をしたいという提案です。環境活動の方は発表会のほかに、例えばいろいろな形で小学校を対象にポスターや標語を作ってもらうという形の発表会でもいいのかと思っています。

12 番です。これは今年、小学校 6 年生向けにコンサートをやる予定になっています。これは自治協提案というより、できれば区の事業としてやっていただきたいと思っています。そのほかに親子コンサート、乳幼児から小学生の低学年までと母親、あるいは父親、祖父母を含めた形で、一緒に音楽を楽しめるような機会を文化会館でしたいという提案です。土日であれば、北区フィルハーモニー楽団が講演可能ではないかと思っています。

松田会長

皆さんからそれぞれご質問やご意見がありましたらここで伺いたいと思います。

神田委員

1 の鶴巻委員に質問です。新潟市食生活改善推進委員協議会という団体に所属していると思いますが、2 年くらい前に北地区老人クラブ連合会で、防災食をこの団体の松浜北地区にお願いして非常に参考になりました。次の年またお願いしたところ、人員がいなくて指導できないという回答でした。今、鶴巻委員のお話だと活発に活動しているようです。その辺は、北区いろいろな差が出ているような形ですが、活動内容について改めて説明をお願いします。

鶴巻委員

その話は私も松浜グループから聞いてなくて、今初めて聞いて大変申し訳なく思っております。

私たちのグループでは、51 人会員がいますが、どういう事情で、手が足りないからということでお断りしたのか分かりませんが、これからはそういうことのないように進めていきたいと思いますので、またこれからもよろしく願いいたします。

神田委員

11 番の本間さんに質問です。新潟市住みよい郷土推進協議会でグリーンカーテンの苗を

各小学校とか中学校、団体の希望者に配布して喜ばれていますが、学校へ苗の配布をしたことはありますか。

本間（久）委員

私が把握しているところでは早通南小学校へ配布しています。直接我々が行って植えるところから指導しています。ただ、そのあと水をやらないと成長しないので、そこが大変です。あと早通中学校へも配布したことがあります。

苗もある個人の方がずっと作っておられて、2000株くらい作っているのですが、予算的な問題があり、補助金をいただいてやっているという形です。主にゴーヤと数年前から四角豆もやっています。無料配布しているので希望者全部は難しいと思います。ただ、依頼があれば個人向け、あるいは企業向けも含めて配布はしております。

佐久間委員

9番の提案事業について工藤委員にお伺いします。名所を回ったりとかウォーキングをしたり、他世代交流や名産品利用ということですのでごく魅力的だと思いますが、なぜカレーなのか。もし理由があれば教えていただきたいと思います。

工藤委員

理由としては、北区の野菜や魚介等を使って手軽に作りやすい。ウォークラリー中、設問を解きながら進み、正解すると食材をもらって、ゴールしたあとでその食材を使ってカレー作るという、手軽に取り組めるというところでカレーライスに設定しています。そこは、特別こだわりはないです。

本田委員

9番のことです。食生活改善推進委員協議会の方と一緒にいき、その食材を使った、私たち親が分からないような料理の方法とか、それこそ防災のときに使えるようなご飯で簡単にできるものとか、専門的な話を聞ける機会となる事業であればとてもいいと思いました。

本間（久）委員

全体的な話です。30人の委員中、提案者は7人しかいません。皆さんコミュニティなど団体からの代表という形で出られています。おそらく、各コミュニティ団体はある程度問題意識というものを持っておられると思いますので、それを出していただけなかった

のは少し残念だと思っております。会議でも、皆さん発言をあまりされておられません。皆さんは団体の代表ですとか、コミュニティ協議会の代表ですので、どんどん発言をしてほしいのです。自治協議会というのは、自分たちが提案した事業がどんどん実施できるわけです。今年度は終わりですが、来年度できれば皆さんに提案をしていただきたいと思います。

松田会長

どんどん出していただいていたという話もあったのですが、このあと多分話があると思うのですが、どんどん出しても実施できる数は限定されるようであるので、そこがまた痛いところでは。

では、特にないようですので、このあと事務局案で割り振った担当部会で検討していただくこととなります。この案のとおりでよろしいかどうか皆さんにお伺いします。これは、もう少しこちらの部会の方がいいというようなお考えもありますか。

本間（久）委員

5と7が同じような内容ですので、これは合体してもいいのかと思います。どこでやるかとなれば、文化交流と考えて自然文化部会だと思います。それから、工藤委員のカレーのウォークラリーと鶴巻委員のパッククッキング、これも一緒でもいいのかと。これはどちらかというより自然文化というよりも地域づくりかと思います。

松田会長

提案者はどうお考えでしょうか。

工藤委員

9を1にということだったのですが、もしそういう形で考えていただけるのであれば、こちらはよろしいと思っています。

鶴巻委員

どのような形にしる、地域の皆様にこういうことがあるということをお知らせしていただければと思いますので、ありがたいと思います。先ほど、私も言い忘れたのですけれども、私自身が運動普及推進員という活動もしていますので、ウォーキングもお手伝いできると思いますので、喜んでお願いいたします。

松田会長

ほかの皆さんはいかがでしょう。いいですか。では、9を1へ組み入れ、5を7に組み入れるということで、割り振りはよろしいですか。

このあと、それぞれ部会ごとに検討をしていただくことになるのですが、事務局から検討における注意事項があるそうなので、説明を副区長お願いします。

副区長

それでは、各部会における検討の際にお願いしたい共通の注意事項を申し上げます。実はこのことについて、先々週、総務部会で、皆様から事業の提案をいただく前にそれは言っておくべきだったのではないかというお叱りをいただきました。なるほどごもっともなお叱りで平謝りでございますが、そこをご了承いただいて、この場であえてお願い申し上げますのでよろしくお願いいたします。

来年度の自治協議会提案事業、今回皆様方からお諮りいただく事業は市民力、地域力を活かした自治協議会と市の協働事業であるという本来の趣旨に近づけるため、委員の皆様これまで以上に積極的にかかわっていただきたいと考えています。もちろん委員の皆様すべて事業をお願いする、いわゆる丸投げをさせていただくというものでは決してございません。

今回各部会においては、これらの提案の中から委員の皆様も積極的にかかわることが可能であろう、一つの事業を選んでいただきたいと思えます。一つというのは、これまでの年度において部会によっては複数事業を受け持つことがありました。こうなると、ますます事務局といいますか、行政主導で進めざるを得ないという状態に陥ります。そうはならないように、協働という本来の趣旨に戻り、この1年間という短い期間の中で取り組むには、各部会1事業くらいが適当と思われれます。そのあたりを踏まえていただいて、今回と9月の部会で方向性をご検討いただき、最終的に10月の部会までに1事業を決定いただきたいと思います。各部会でのご検討をよろしくお願いいたします。

松田会長

今、説明のあったとおり、各部会で1事業を選んでいただくという話です。事業の運営にあたっては、委員の皆さんからも積極的に参加を願いたいということです。何かご意見ある方はいらっしゃいますか。ないようであれば、ご了承をいただきたいと思います。

3 報告事項

(1) 部会の会議概要について

それでは、次に次第の報告事項、部会の会議概要について各部会長から報告をお願いしたいと思います。

五十嵐委員

地域づくり部会です。地域づくり部会の今年度の事業、北区みんなで見守り隊ということですが、今現在、目的の共通認識の取りまとめに少し時間がかかっております。その中でも検討の結果見守り活動を行っている多数の既存団体をつなげ、情報交換できる活動報告会の開催が妥当だろうというようなことで、再度事務局から叩き台を作ってもらい、整理をしていくという方向性になりました。詳細については、部会の会議概要を後ほどお読みいただきたいと思います。

清水委員

福祉教育部会は二つの問題について議論しました。一つは大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業。それから、もう一つはすべてのママ・パパ応援プロジェクトについて。なかなかこちらの問題については課題がたくさんあります。資料の中でもいくつか問題点が提起されていますが、これらを踏まえ、もう少し叩き台がほしい。事務局で叩き台を作って、委員の皆さんからいろいろ意見をいただいて、また検討をするということになりました。

あと、大学生と協働の問題については、これは8月の第3週の区役所だよりに掲載されております。申込が多数の場合はどうするのかという意見に対し、今のところ追加の予定はない。ただ、委員の見学は可能だということでもありますので、よろしく申し上げます。

阿部（美）委員

自然文化部会では二つ協議いたしました。9月11日10時と2時から開かれる、「子どもと音楽の出会い創出事業コンサートホールへようこそ」という小学校6年生を招待する事業です。当日は自治協議会の委員のみが参加していいということになりましたので、ぜひ皆さん、にこやかに子どもたちを迎える側で参加していただきたいと思っております。大谷康子さんのやわらかい感覚と経験の下でいいコンサートになると思いますので、ぜひご参加ください。

それと、潤いの福島潟創出事業で1.潟ツーリズムの推進事業第1回研修会において実際に福島潟を視察してきました。主な意見としては、禁止事項の看板が多い。犬はだめ、自転車はだめ、何とかはだめというのがありますが、できることも書いた方がいいということと、

日陰が非常に少ないので、植栽やらパラソルつきの休憩場所という話もありましたが、逆に植栽したものをどんどん今伐っております。そんな課題が出ました。

松田会長

阿部部会長、子どもの音楽の出会いの日にはいつですか。

阿部（美）委員

11日です。ですから、次回の自治協議会前ですので、今しか皆さんにPRができないのでさせていただきます。

水曜日で、10時からと2時からの2回になります。北区の小学校6年生を招きますが、550席ある席は余裕がありますが、あえてほかの人、例えば保護者とかそういう方たちは今回入れないということになりました。自治協議会委員のみということで限定です。よろしくお願いいたします。

松田会長

そういうことですので、ご都合のつく方、興味のある方はぜひご参加ください。

それでは、今の報告について質問、意見はございますか。ないようですので次に移りたいと思います。

4 その他

(1) 令和元年度「市長とすまいるトーク」について

(2) 北区自治協議会委員研修会について

(3) 北区男女共同参画地域推進員企画事業「眼からウロコの眼のハナシ」について

(4) 令和2年度自治協議会日程について

では、次にその他の令和元年度「市長とすまいるトーク」について、事務局から説明をお願いします。

副区長

お手元の令和元年度「市長とすまいるトーク」についてのご案内をご覧ください。これを含めていくつか説明をさせていただきます。

まず、すまいるトークです。市長が市民の皆様と「子育て支援」、「健康寿命延伸への取り組み」、「少子超高齢化社会」を踏まえてをテーマに意見交換を行います。日時は10月5日土

曜日の午後 3 時から、場所は北地区コミュニティセンターの 2 階ホールになります。自治協議会委員の皆様も多数ご参加をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

次に北区自治協議会研修会のご案内をご覧ください。7 月の自治協議会において、神田副会長からいただいた区づくり事業に関連する現場を知りたいとのご意見にお答えすべく、北区自治協議会の委員研修会を企画させていただきました。なお、行程については、総務部会で決定いただきました。次ページの出欠連絡票を次回の自治協議会までにファクス、メール等で事務局まで提出ください。

次に、眼からウロコの眼の話のご案内をご覧ください。北区男女共同参画地域推進委員の企画事業として、9 月 17 日（火）の午後 2 時から豊栄地区公民館で開催されます。新潟医療福祉大学の石井雅子教授のお話を聞くことができる機会ですので、ぜひお申込ください。

次に、資料がございませんが頭出しをさせていただきます。令和 2 年度、来年度の自治協議会開催日程についてです。今年度に至るまでずっとそうだったのですが、毎月第 3 週木曜の開催としておりました。これを毎月第 4 週木曜の開催に変更させていただく予定でございます。後日、具体的な日付けを入れた案をお配りいたしますのでよろしくお願いいたします。

実は、当時の委員の皆様方のご都合をお伺いして第 3 週にさせていただいた経緯があるのですが、市内 8 区中、北以外のほかの 7 つが第 4 週の開催です。北区だけが先に毎月開催すると、例えば本庁報告であるとかそういったもののタイムラグ、たまたま 3 週にやるから来月周りになったりするものですから、8 区足並みを揃える意味で、できれば 4 週にお願いしたいということです。

松田会長

了解いただけますか。いいですか。ということで、来年度から変更になるという話でした。ほかに事務局から何かありますか。

(5) 文芸あがきたについて

豊栄地区公民館館長

豊栄地区公民館では文芸あがきた最終記念号について、当館の事業ではないですが、編集委員の人たちへ、事務局として編集活動を補助しているところです。その現在の状況とあと 1 点皆さんのお願いがございます。

昭和 60 年に文芸とよさかとして発行された文芸誌ですが、今年度に最終記念号を出して、通算 35 巻目です。今現在 24 名の方から原稿の応募がございます。原稿の応募者が 200 名を超えると印刷にかかる費用が何とか捻出できます。今の状況ですと、なかなか難しいところ

です。原稿については8月いっぱい締切ですのでまだ若干日にちがあります。もし、作品を応募したいという方がいましたら、ぜひご協力をお願いします。

そして、お願いですが、費用捻出のため、編集委員また個人で募金活動を行っております。今現在、公民館の窓口に募金箱を設置させていただいております。投稿はしないが、少しでも役に立ててほしいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ募金のご協力をお願いします。

(6)阿賀野川ござれや花火について

皆川委員

8月25日(日)、阿賀野川で毎年恒例の阿賀野川ござれや花火があがります。例年ですと、7時半から9時の間であげますが、立地上飛行機の離発着があり、その前後10分程度は打ち上げが止まるものですから、それを打ち上げが終わったと思って帰る方がいらっしゃり、気がつくともた後ろであがっているということがあります。午後8時から9時までの間に3便離発着があるのですが、それを空港当局と掛け合い、午後8時以前と午後9時以降に移動していただきまして、8時から9時の間はノンストップであげる予定になっております。ですので、例年よりもぎゅっと詰まったような感じで花火があがると思いますので、ぜひ皆様に起こしただければと思います。

あと、ご協賛各社からいただいた協賛金でうちわを例年作っております。今年は4色、デザインで3種類。本日受付のところに置いてありますので、部会に移動されるときにお好きなデザインのものをお持ちください。この委員会の中でも花火にご協賛、ご協力いただいた方もいらっしゃるかと思いますので、ぜひ当日皆様晴れることを祈っていただき、ご協力いただければと思います。ありがとうございます。

松田会長

ほかに委員の皆さんから何かございますか。ないようでありますので、予定された議題および連絡は以上であります。それでは、事務局に進行を戻したいと思います。